

新しい斎場の整備事業についての説明会

配布資料

# (仮称) 新斎場の整備について

- 1 これまでの取組経過
- 2 今後の取組
- 3 スケジュール

令和元年 8月3日・4日  
相模原市 市民局 区政支援課

# 相模原市の火葬需要の現状と予測

1 これまでの取組経過

高齢化の進行に伴い、

**令和9年には、火葬需要が  
現市営斎場の火葬枠を超過する予測**

火葬需要は令和24年まで増加し続け、その後  
ピークの令和45年まで、ほぼ横ばいで推移

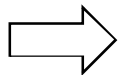
(約9,000件/年)

平成30年度の火葬実績

5,828件/年

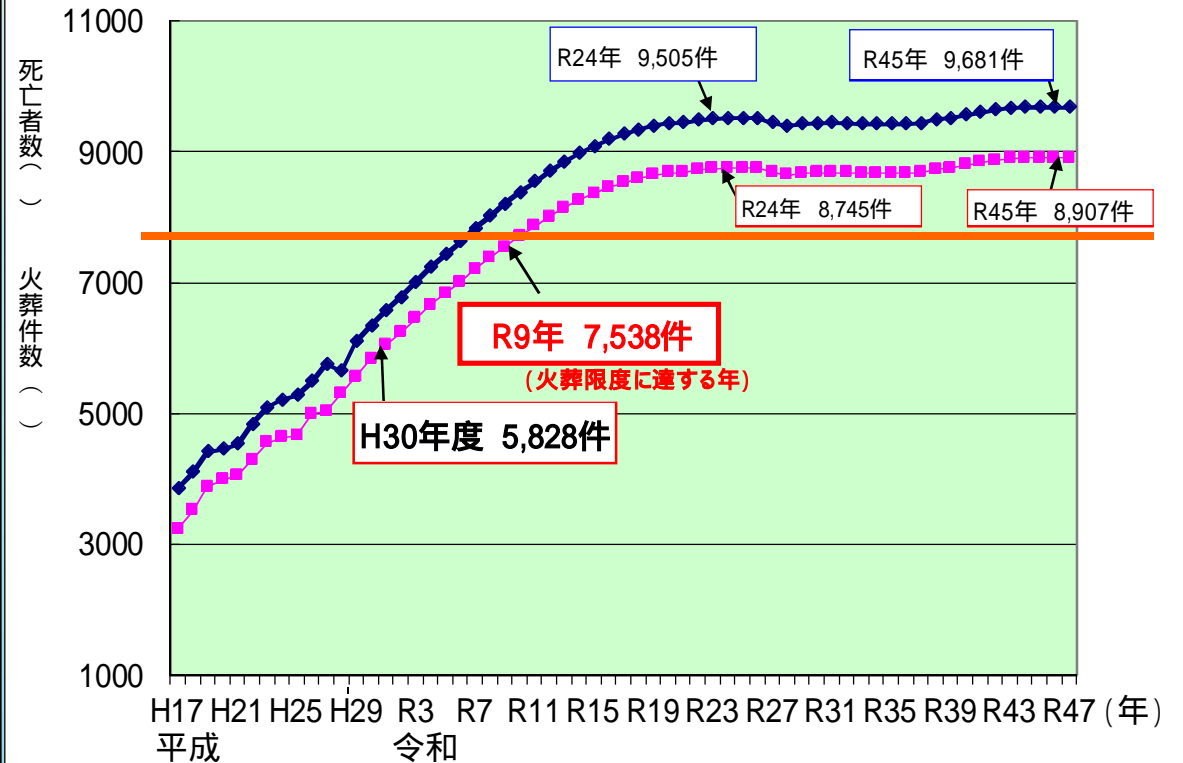
市営斎場の火葬枠

約7,700件/年



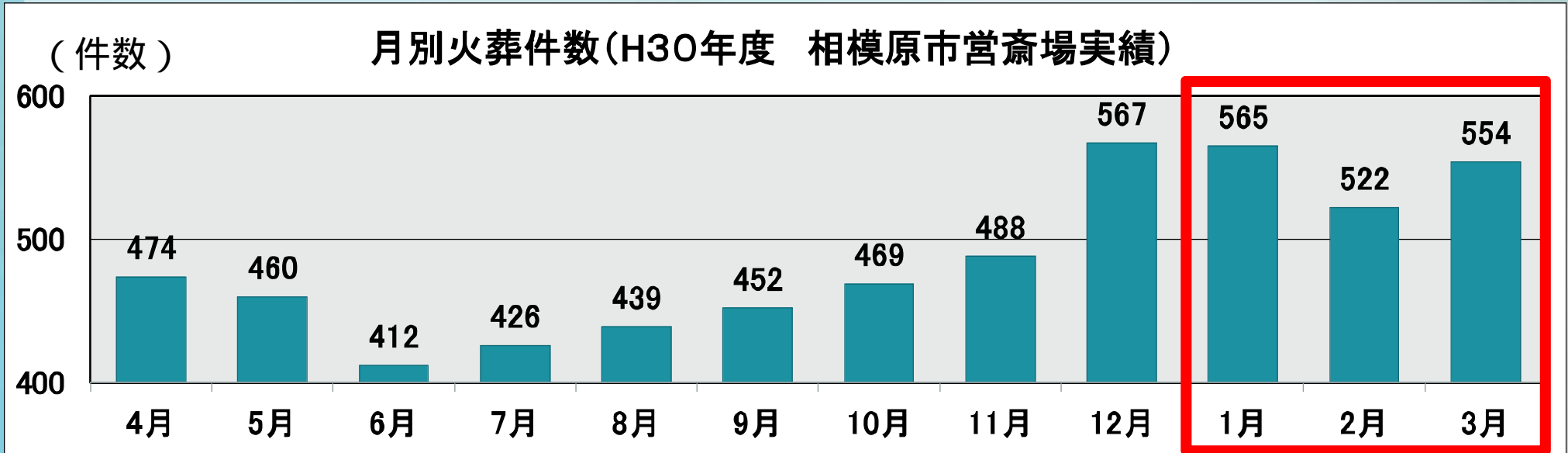
年間平均稼働率：約7.5割

## 2015年国勢調査の結果を基に推計



# 現市営斎場を取り巻く現状 ( 1 / 2 )

1 これまでの取組経過



昼前後の時間帯の待ち日数 ( H 3 0 年度相模原市営斎場実績 ) 12 : 30火葬開始枠の平均

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
待ち日数	4.0日	4.3日	4.1日	3.9日	4.1日	4.2日	3.8日	3.8日	4.3日	6.6日	6.5日	5.3日

1月～3月は火葬件数が多く、昼前後の時間帯は、概ね5日～6日待ち

## 現市営斎場を取り巻く現状（2 / 2）

1 これまでの取組経過

### 周辺市町の火葬場においても、火葬需要は増加傾向

本市同様、近隣の市町（愛川、厚木、南多摩、横浜、大和）の火葬場にも**住民優先予約枠**があり、他市住民である**相模原市民の利用しづらい状況が想定**される

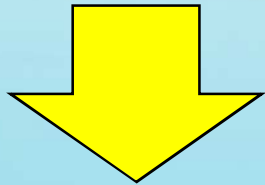
### 【参考】近隣斎場の火葬炉使用料（市・町民以外 12歳以上）

愛川聖苑	8万円	八王子市斎場	5万円
上野原市葬斎場	5万円		
相模原市営斎場	6,000円（市民 12歳以上）		

## 新たな火葬場整備の必要性

1 これまでの取組経過

現市営斎場は、建設（H4年）から26年が経過、  
今後、大規模改修の必要が生じる



- ・火葬場は、市民生活にとって必要不可欠な施設
- ・令和9年には、火葬枠を超過する予測

現市営斎場の大規模改修の工期を考慮すると、  
令和6年度中までには、新たな火葬場の整備が  
市としての喫緊の課題

## 新・相模原市総合計画での位置づけ（H22.3）

### 生活衛生対策の推進

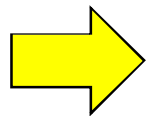
市域の拡大に伴う市民ニーズなどを踏まえ、  
火葬場の適切なあり方を検討



## 新たな火葬場のあり方に係る提言（H25.3）

### 新たな火葬場の整備

- ・ 市内在住者が新たな火葬場もしくは現市営斎場のどちらかに  
概ね1時間で到達できる距離(場所)



津久井地域での立地が望ましい

## 新たな火葬場整備基本構想(H26.5)

「新たな火葬場のあり方に係る提言」を踏まえ、**新たな火葬場の整備を進めていくための基本的な考え方をまとめたもの**

候補地の選定に当たっては、**津久井地域での整備**を基本

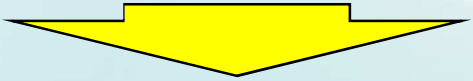


## 旧津久井4町地区代表意見交換会(H27.3)

- ・津久井地域から**津久井地区**(1時間以内)が適当
- ・いくつかの候補地を条件に照らして検討してはどうか
- ・地域からの候補地の提案については、津久井地区自治会連合会、津久井地区まちづくり会議を窓口として協議してはどうか

城山地区、相模湖地区、藤野地区へは、適宜、状況の報告や情報提供を行う

出席者 城山地区・津久井地区・相模湖地区・藤野地区まちづくり会議及び  
自治会連合会の代表・副代表 延べ24名



H27.9 津久井地区自治会連合会、津久井地区まちづくり会議  
新たな火葬場については、候補地は事業者である市の方で  
選定し、地域からは意見をもらう



「新たな火葬場を考える会」の設置(H27.9～H29.3)

目的 候補地の選定や施設機能・内容など、新たな火葬場の整備  
について、立地予定である津久井地区から意見等をもらうこと

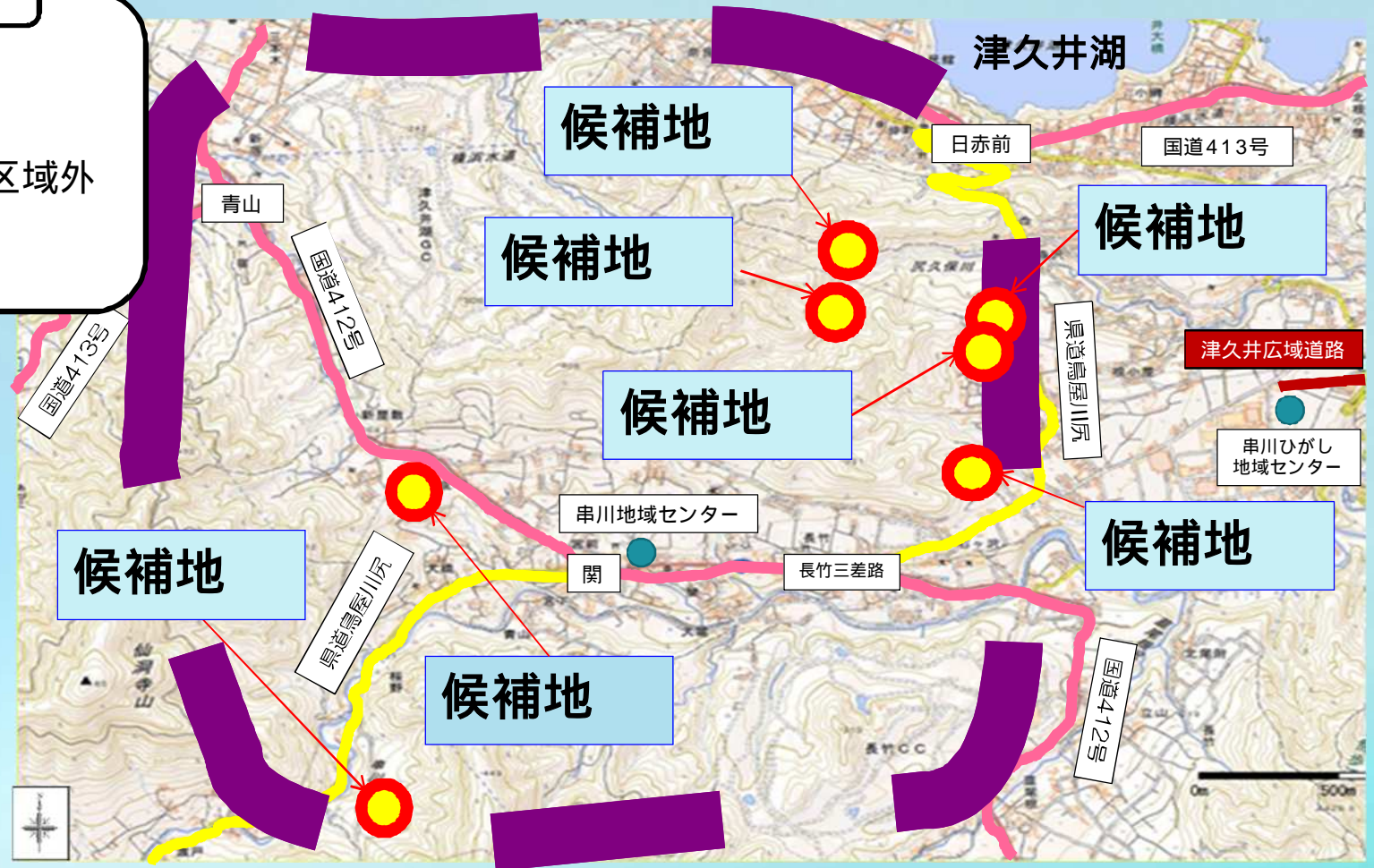
構成員 「津久井地区まちづくり会議」委員 5名  
「津久井地区自治会連合会」役員 10名  
相模原市 市民局次長



# 候補地の抽出（7箇所）

## 候補地抽出の条件

- ・ 津久井地区内
- ・ 概ね4haの一団の土地
- ・ 保安林指定地外、農用地区域外
- ・ 住環境との分離
- ・ 地域の声



### 3箇所候補地への絞り込み

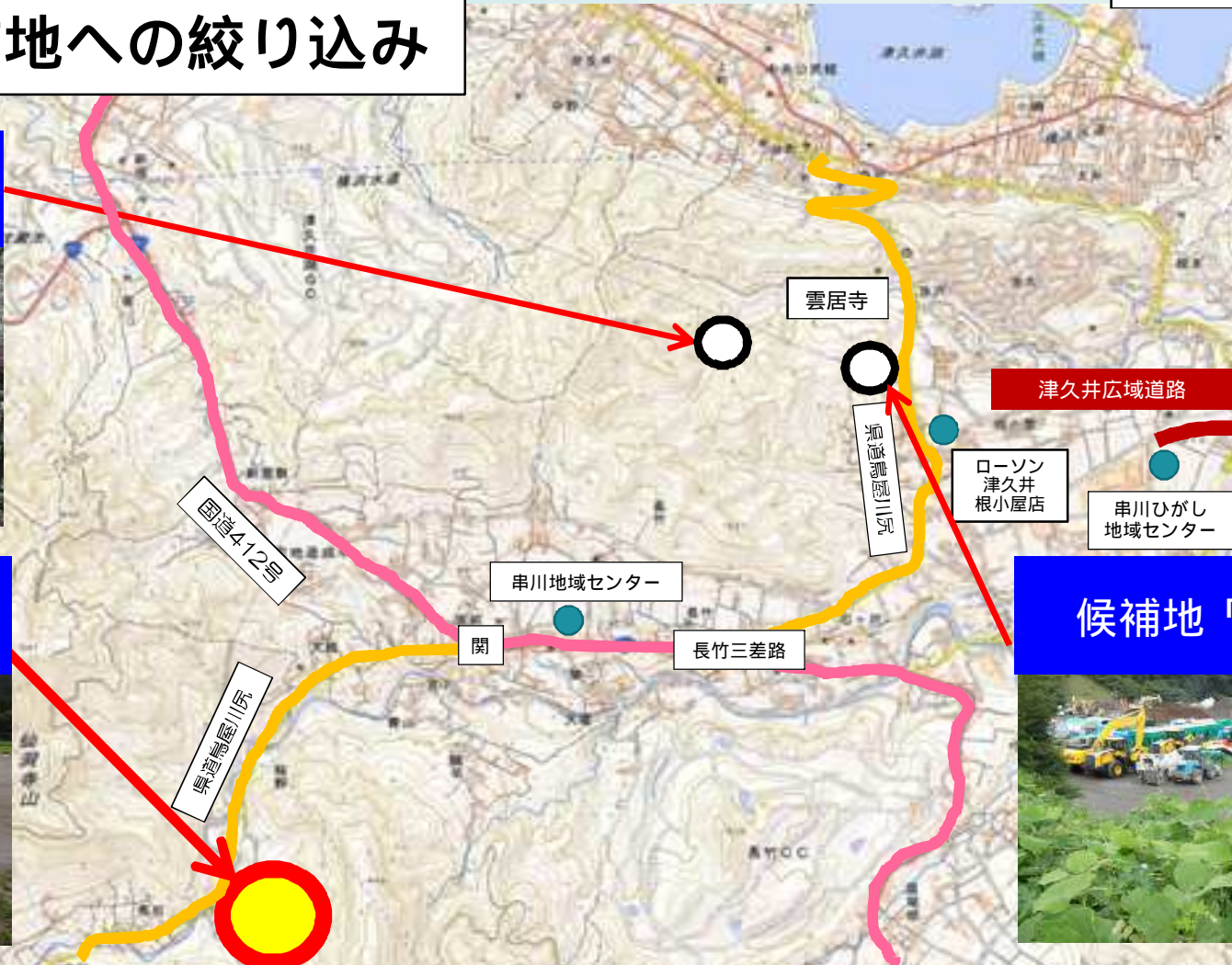
候補地「寺沢奥南」



候補地「青山」



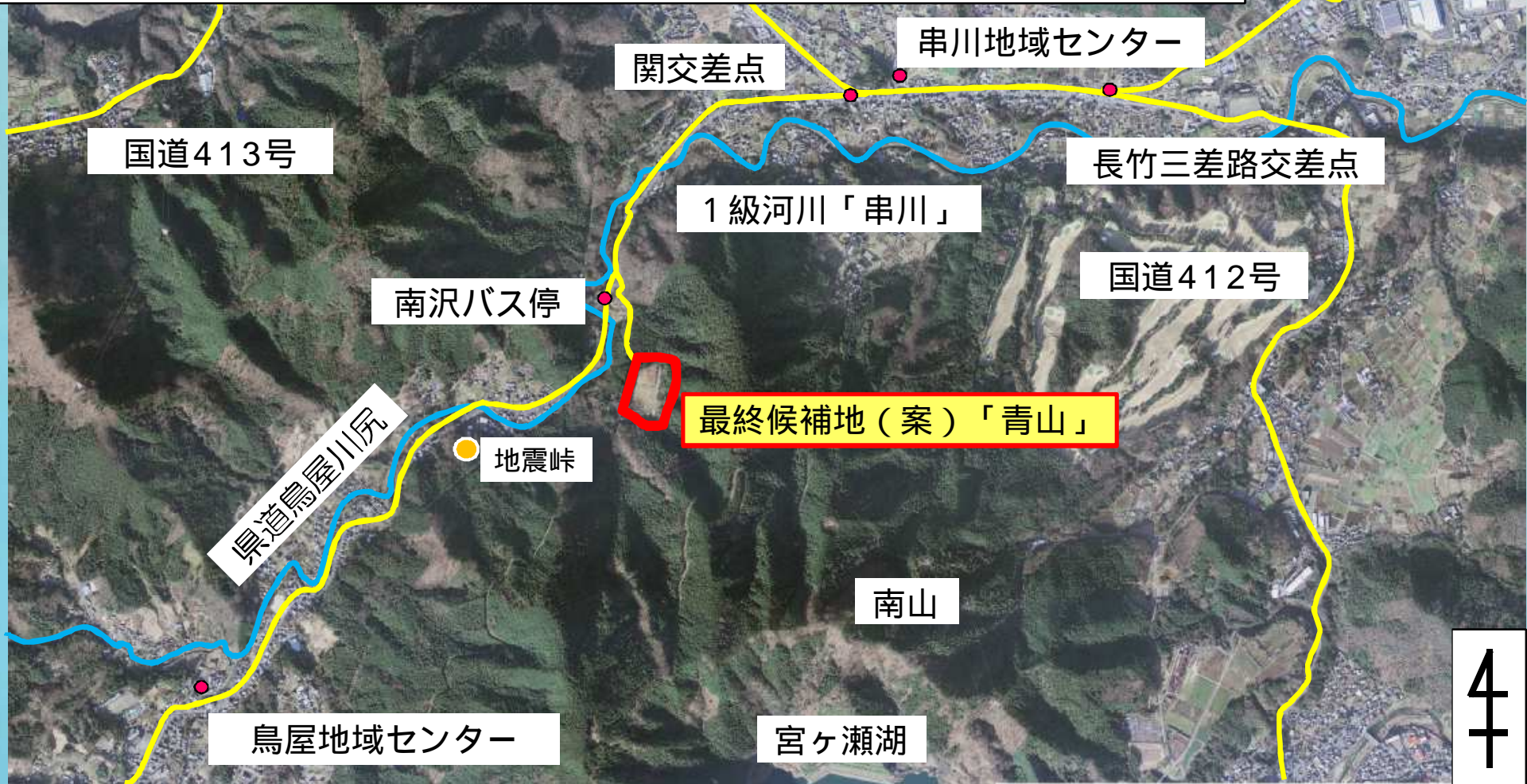
候補地「土沢北」



3箇所候補地について、評価と比較を行い候補地「青山」を最終候補地（案）として取組を進めることとした

# 最終候補地（案）「青山」位置図

1 これまでの取組経過



## 最終候補地（案）「青山」全景

1 これまでの取組経過



4

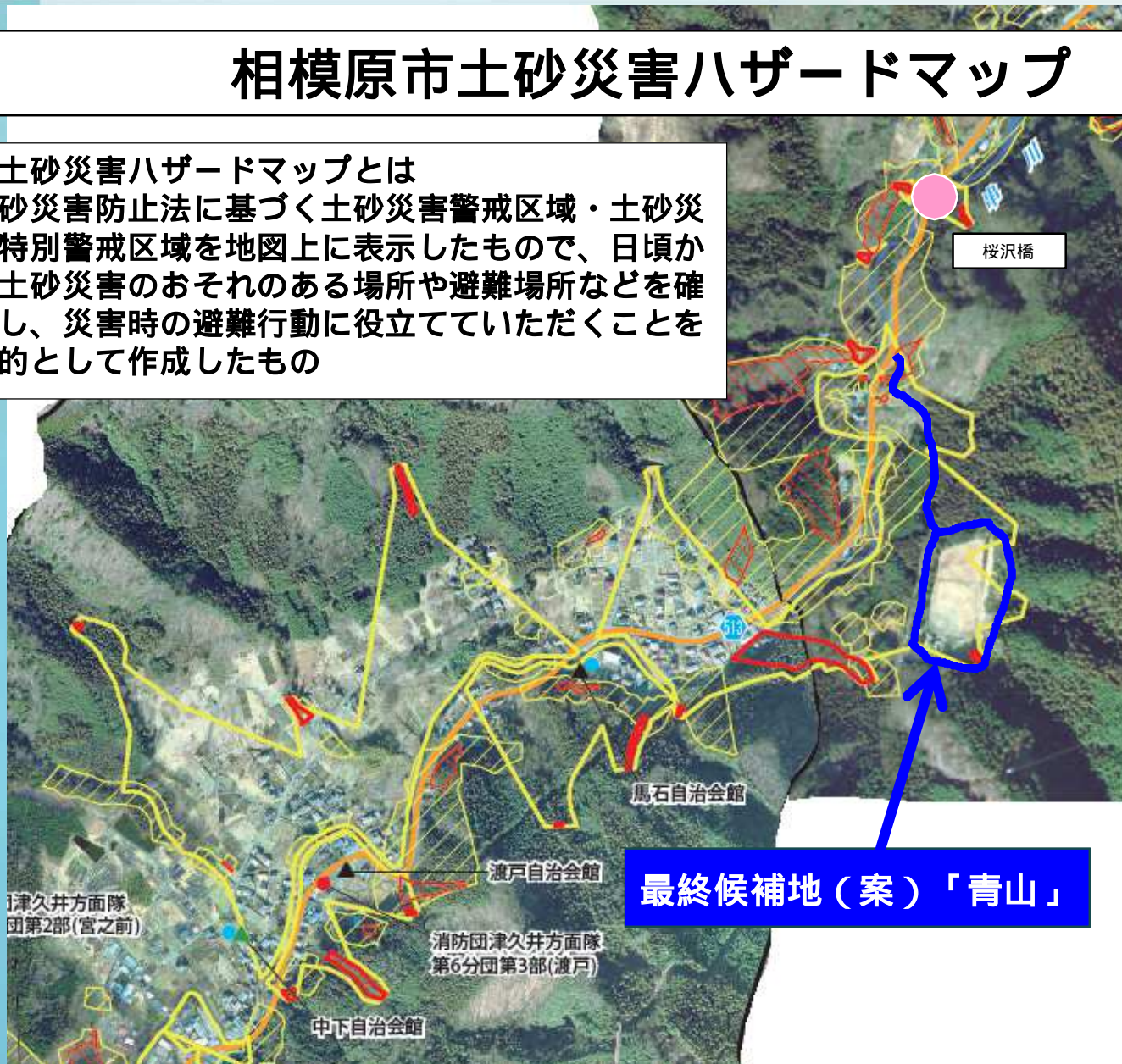
帝京大学青山グラウンド

平成28年9月より市民や地域団体への説明会を開始

# 相模原市土砂災害ハザードマップ

1 これまでの取組経過

・土砂災害ハザードマップとは  
土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域を地図上に表示したもので、日頃から土砂災害のおそれのある場所や避難場所などを確認し、災害時の避難行動に役立てていただくことを目的として作成したものの



土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の概要		
土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域		
<b>土砂災害警戒区域</b>	土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危険が生じるおそれがある区域が指定されています。この区域では、土砂災害から生命を守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるように地防防災計画に定められ、警戒避難体制の整備が図られます。	
<b>土砂災害特別警戒区域</b>	土砂災害が発生した場合に、建築物に被害が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域が指定されます。この区域では、開発行為の制限、建築物の構造規制や移転勧告などが行われます。	
土砂災害の種類	地図上の表示	発生の前兆現象
急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)  傾斜度が30°以上である土地が崩壊する自然現象	<b>土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊(がけ崩れ))</b>  土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊(がけ崩れ))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・斜面がひび割れる。</li> <li>・小石がばらばら落ちる。</li> <li>・木が傾いたり倒れる。</li> <li>・木の根が切れる音がする。</li> <li>・わき水がとまる。あるいは、噴き出る。</li> </ul>
土石流  崩壊した山腹や渓流の土石等が流下する自然現象	<b>土砂災害特別警戒区域(土石流)</b>  土砂災害警戒区域(土石流)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨が降り続けているのに、川の水が減る。</li> <li>・川が急ににごったり、流木が混ざり始める。</li> <li>・木の裂ける音がする。</li> <li>・異常なおい気がする。</li> </ul>

# 伊勢原断層・鶴川断層

1 これまでの取組経過



最終候補地（案）「青山」

鶴川断層

伊勢原断層

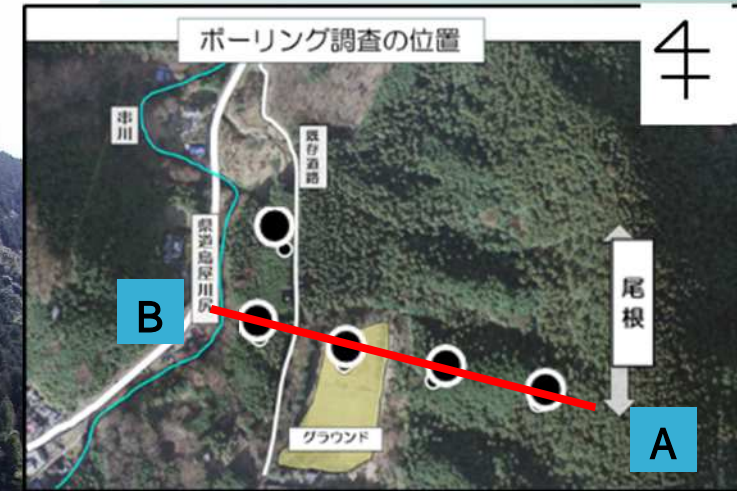
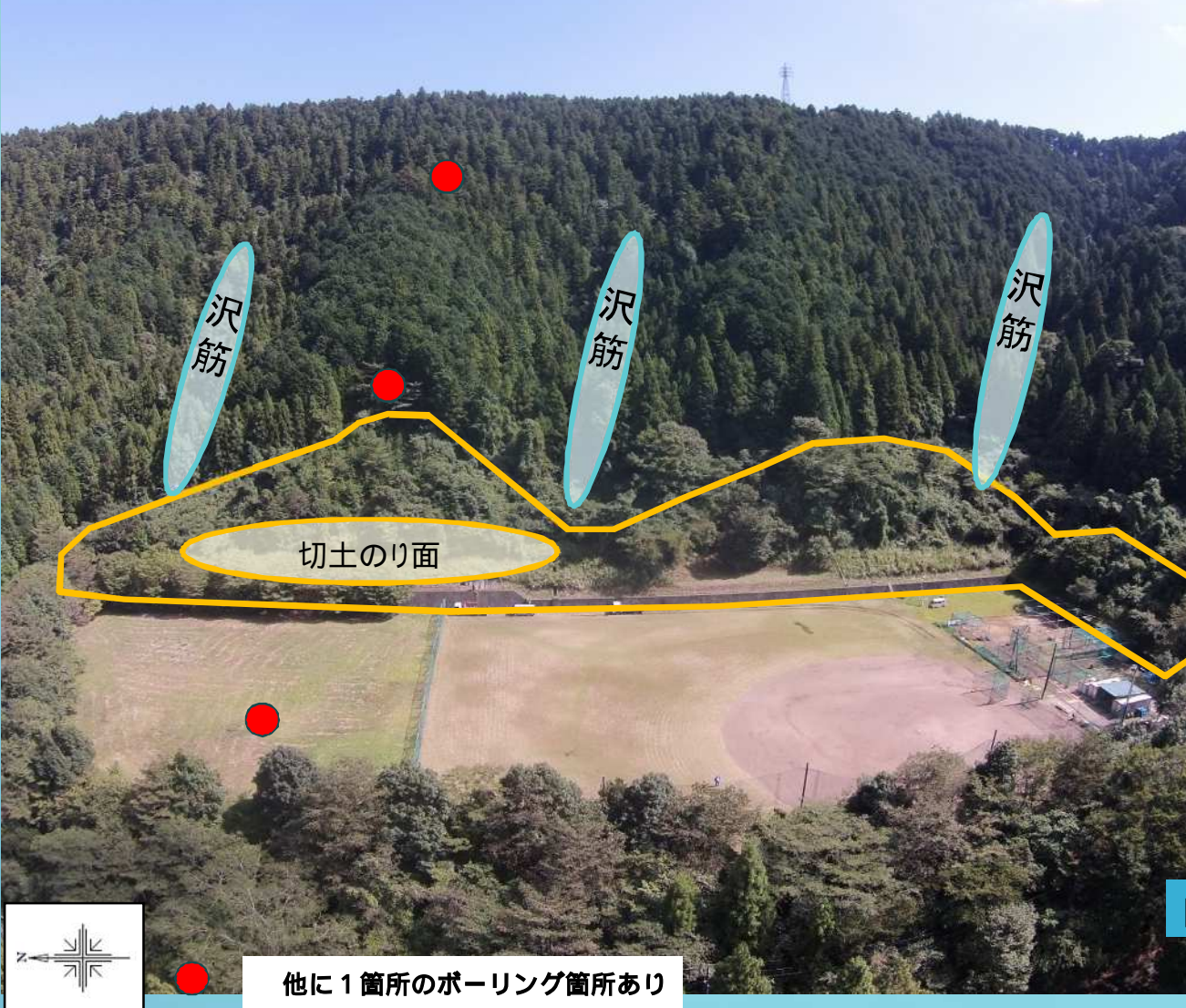
**伊勢原断層（活断層）**  
平均活動間隔は4千年～6千年程度で、地震発生の可能性は低い。  
-相模原市防災アセスメント調査報告書（平成26年5月）-

**鶴川断層**  
活断層の可能性の低い構造  
-地震調査研究推進本部HP 関東地域の活断層の長期評価（第一版）概要（平成27年4月）-

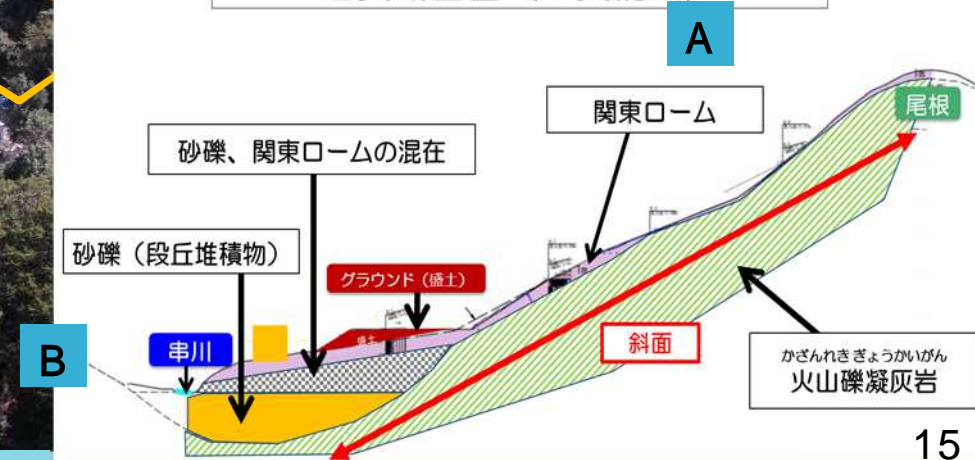
表示される断層の位置については、概略となります

# 平成29年度 地質調査（ボーリング箇所）

1 これまでの取組経過



地質断面図（土質構成）



## 平成29年度 地質調査の結果

### 【斜面の安定性評価と対策等】

- ・ 今後、大規模な斜面崩壊の発生の可能性は小さい  
大規模斜面崩壊の対策工事は必要はない
- ・ 切土のり面について、長期的安定性の維持のための保護方策として「植生基材吹付工」が必要【概算事業費 6,000万円】

### 【土石流発生の可能性評価と対策等】

- ・ 今後、著しい被害を及ぼすような土石流の発生の可能性は小さい  
砂防堰堤など土石流の対策工事を検討するレベルにない
- ・ 維持管理の観点から、雨水の円滑な排水処理のため、明きよの排水路整備が考えられる【概算事業費は今後の宅地造成計画（排水計画）の段階で判明（10mあたり25万円）】

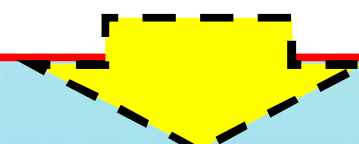


引き続き最終候補地（案）「青山」での検討を進める



## 最終候補地の決定について

地質調査の結果や最終候補地（案）「青山」での検討の継続などについて、地域団体や地域住民、市民の皆さまに説明を行い、説明会等でのご意見や串川・鳥屋の地域振興協議会のご意向を踏まえ、最終候補地の決定について見極めてまいりたい



## 新たな火葬場整備に関連のある環境整備の地域協議について

最終候補地を決定した上で、串川・鳥屋の両地域振興協議会と具体的な協議を進めていきたい

### ○土砂災害等に関する反対や懸念

- ・土砂災害警戒区域（土石流）に指定されており危険な場所
- ・馬石地区の地震峠（山津波）と山続きであり斜面崩壊の危険性
- ・進入路は行き止まりの林道であり避難道路がなく災害時に孤立
- ・周辺の伊勢原断層と鶴川断層の存在
- ・2つの断層に挟まれているため揺れが大きく危険

### ○火葬場からの排水による串川の水質汚染を懸念

### ○火葬場に関連のある道路整備を望む意見

- ・関バス停付近～六間入口バス停間の道路拡幅
- ・串川グランド前バス停付近～長竹三差路交差点付近の歩道の整備
- ・六間入口バス停付近～鳥屋郵便局前の幅員の狭い箇所での道路拡幅

### ○火葬施設だけでなく、式場の併設を望む意見

## 候補地「青山」周辺の居住者の意見

### ○お住まい周辺的环境改善を望む意見

- ・ 県道鳥屋川尻の交通事故防止対策
- ・ 積雪時の県道の迅速な対応
- ・ 下水道整備計画区域の拡大

### 下水道整備計画区域



至 候補地「青山」

## 地域団体の意向 (候補地「青山」を最終候補地とすることについての意向)

### 串川地域振興協議会

#### 【意向】

候補地「青山」を最終候補地とすることについて**賛同する**(一部反対意見あり)  
( H31.1.9 地振興全体会 )

#### 条件

- ・火葬場施設の安全対策を講じることや、道路整備や斎場(式場)機能を持つ施設など

### 鳥屋地域振興協議会

#### 【意向】

候補地「青山」を最終候補地とすることについて**賛同する**  
( H30.8.16 地振興全体会 )

#### 条件

- ・進入路の安全対策や積雪時の対応、式場の施設機能などを検討していくこと
- ・周辺道路の改良など環境整備について、鳥屋地域振興協議会と具体的な協議を進めながら検討していくこと

## 最終候補地の決定について

地質調査の結果

説明会等での主な意見

周辺居住者の主な意見

地域団体の意向

- ・ 説明会での反対や懸念の意見については、**今後の基本計画等において検討が可能**
- ・ 地域団体や周辺居住者の意見については、串川及び鳥屋地区の地域振興協議会との**環境整備に関する協議の中で検討**

**最終候補地を候補地「青山」に決定 (H31.2.21)**

## 新たな火葬場の検討名称について

### 「新たな火葬場」 「(仮称)新斎場」

完成後の施設名称は、今後の事業進捗に応じて改めて検討

他施設において、「斎場」など「火葬場」以外の施設名称が一般的(約90%)

#### 【参考】

名称内訳・・・「斎場」86施設、「火葬場」11施設、「その他(聖苑、斎苑など)」18施設

火葬場以外の名称を使用した施設 = 104施設/115施設(約90%)

-東京都、政令市、中核市、40万人都市、神奈川県内、周辺市町の115施設の調査(H24本市実施)-

○『斎場』などの名称に改めた方が良い(説明会等での意見)

# 今後の取組について

2 今後の取組

新たな火葬場整備  
基本構想（H26.5策定）

H31.2 最終候補地を候補地「青山」に決定  
「青山」での具体的な検討の開始

候補地「青山」の地形等を考慮して、基本構想の具体化

## 基本計画の検討

- ・ 施設機能の整理
- ・ 土地利用計画（建物、駐車場、緑地の配置等）、法面や擁壁、進入路、雨水排水処理など土砂災害対策の検討、事業費や事業手法の検討など
- ・ 都市計画決定に伴う図書の作成など

自主アクセス実施の検討

○周辺の環境整備の協議

合意形成を図りながら串川・鳥屋の両地域振興協議会と具体的な協議

## 基本計画の策定

都市計画手続き（縦覧・意見書・都市計画審議会）

都市計画決定（建設予定地の決定）

## 基本計画の検討

### 具体的な検討

- ・ 施設機能の規模、内容、動線の整理
- ・ 平面図、立面図等の図面の作成
- ・ 斎場区域の設定
- ・ 土地利用計画（火葬棟、式場棟、駐車場等の配置）
- ・ 雨水排水計画
- ・ 土砂災害対策や避難路の検討
- ・ 進入路の検討
- ・ 事業手法の検討、概算事業費
- ・ 都市計画図書の作成 など

交通管理者など関係機関との協議

概ね2か年での検討を想定

継続して、地域団体、地域住民、市民への説明会等の開催及び関係団体への説明

火葬炉数、式場規模  
駐車場台数、ペット炉の有無  
主な施設機能の考え方（案）

地域説明会等の意見を考慮

基本計画の策定



## 火葬炉数（1/2）

### 今後の火葬需要に対する火葬能力

市全体の一泊あたりの最大火葬件数予測 **47件/日**  
(R45年の年間火葬件数予測8,907件を基に算出)

最大火葬件数算出式：1日の平均火葬件数（29.7件）×火葬集中係数（1.6）= 47件/日  
「基本構想」（H26.5）に基づき、火葬が集中する1月分の火葬待ち日数を加味して**集中係数を1.6**とする。  
(火葬場の建設・維持管理マニュアルでは1.5～1.75)



現市営斎場の1日の火葬可能件数 **23件/日（年間7,700件）**

**（仮称）新斎場では、24（47 - 23）件/日  
の火葬を行える火葬炉数が必要**

# 主な施設機能の考え方（案）

2 今後の取組

## 火葬炉数（2 / 2）

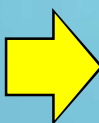
### 必要火葬炉数

- ・告別室4室、収骨室4室、待合室8室とすることで火葬炉1基につき3件 / 日が可能

#### 【火葬炉運用イメージ】

火葬炉	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	
1	1件目					9件目					17件目							
2		5件目					13件目					21件目						
3	2件目					10件目					18件目							
4		6件目					14件目					22件目						
5	3件目					11件目					19件目							
6		7件目					15件目					23件目						
7	4件目					12件目					20件目							
8		8件目					16件目					24件目						

基本計画の検討に当たっての主な施設機能の考え方（案）  
 24件 / 日の火葬に必要な火葬炉数8基が妥当



## 主な施設機能の考え方（案）

### 式場の規模と運用（1/3）

#### 立地場所周辺の状況や地域特性【現状確認】

- ・ 火葬需要の増加に伴い**式場需要の増加が想定**  
一般葬・家族葬等（式場利用あり）約95% 直葬（式場利用なし）約5%  
「公正取引委員会による葬儀業者アンケート調査（H29.3）」
- ・ 新斎場設置に伴い**民間式場の立地が想定されるものの、現時点では、市内民間式場21施設のうち、津久井地域には2施設**
- ・ 市営斎場と同様の**式場併設の強い地域要望**  
式場併設の協議は、**候補地「青山」を最終候補地とすることについての意向確認の際に地域団体から示された条件**

## 主な施設機能の考え方（案）

### 式場の規模と運用（2/3）

#### 基本構想の整理（H26.5）

津久井地域内に新たに必要となる式場は、**200席程度の規模**となり、式場の設置に当たっては、**葬儀の小規模化**などに対応し、**弾力的な利用**ができるよう、**構造や運用について検討**が必要

市営斎場 170席（大式場100席、小式場70席）

#### 式場利用の傾向分析

- 核家族化の進行等により、**葬儀の小規模化（一般葬儀 家族葬）の傾向**  
市営斎場の式場利用率  
H19年度：大式場94% > 小式場93%  
H24年度：大式場93% < 小式場96%  
H29年度：大式場93% < 小式場98%
- 式場利用ではないが、**火葬に伴う利用者は年々減少（市営斎場）**  
H19年度：23人/件、H24年度：17人/件、H28年度：14人/件

2室の式場を基本とし、葬儀の小規模化に対応できるよう、パーティションにより弾力的に運用

市営斎場170席(大式場100席、小式場70席)

イメージ

小(50席)

小(50席)

小(50席)

小(50席)

中(100席)

中(100席)

大(200席)

レイアウト上技術的に可能かどうか要検討

基本計画の検討に当たっての主な施設機能の考え方(案)

式場併設を想定し、100席×2室程度が妥当

(パーティションで仕切ることで弾力的に運用可能な仕様とする)

参考 概算整備費：約400,000千円 維持管理費(電気・ガス)：約4,300千円/年 使用料収入：約30,000千円/年

## 主な施設機能の考え方（案）

### 駐車場規模

#### 基本構想での整理

現在の市営斎場における駐車場の利用状況や、津久井地域の地域性を勘案した場合、一定規模（約150～250台）の駐車場の整備が必要

「火葬場の建設・維持管理マニュアル（特定非営利活動法人日本環境斎苑協会）」を参考に試算  
式場200席、火葬炉8基とした場合 **193台**（普通自動車185台、マイクロバス8台）

#### 基本計画の検討に当たっての主な施設機能の考え方（案）

**周辺には民間駐車場がないため、少なくとも200台程度の  
駐車場が必要**

## 主な施設機能の考え方（案）

### ペット炉の有無

#### 基本構想での整理

基本構想では、ペットも大切な家族の一員であるという意識が高まりつつあり、  
 今後は、**設置を検討する必要がある**

- ・市内・近隣地域において、ペット火葬を営む事業者は14者おり、**公共施設での実施により民業圧迫の懸念**
- ・**設置には多額の財源**(1基 約7,000万円(コンサル調べ))  
 を要し、受付や待合室などスペースを確保も必要

【参考】各法律等における規定

#### ○墓地、埋葬等に関する法律

- ・火葬場は人体を火葬する施設であり、墓埋法に基づき、設置しているが動物は法の対象外である

#### ○動物の愛護及び管理に関する法律

- ・特に規定はない

- ・北清掃工場において**動物専用炉を設けている**（H29年度 2,491頭） H29年度狂犬病予防注射頭数：31,367件

基本計画の検討に当たっての主な施設機能の考え方（案）  
**ペット炉は設置しないことを前提**

# 今後の取組について

2 今後の取組

新たな火葬場整備  
基本構想（H26.5策定）

H31.2 最終候補地を候補地「青山」に決定  
「青山」での具体的な検討の開始

候補地「青山」の地形等を考慮して、基本構想の具体化

## 基本計画の検討

- ・ 施設機能の整理
- ・ 土地利用計画（建物、駐車場、緑地の配置等）、法面や擁壁、進入路、雨水排水処理など土砂災害対策の検討、事業費や事業手法の検討など
- ・ 都市計画決定に伴う図書の作成など

自主アクセス実施の検討

## ○周辺の環境整備の協議

合意形成を図りながら串川・鳥屋の両地域振興協議会と具体的な協議

## 基本計画の策定

都市計画手続き（縦覧・意見書・都市計画審議会） 都市計画決定（建設予定地の決定）



## 環境整備の地域協議の市の体制

串川地域振興協議会

鳥屋地域振興協議会

協議

協議

(仮称)新斎場整備検討会議

(市道路部門や市環境部門などにより庁内で構成)

要望内容に応じて、区政支援課は所管する所属とともに  
地域振興協議会と具体的な協議を行う

## 自主的な環境アセスメント

### 検討の考え方

- ・ 斎場施設の建設については、**環境影響評価法及び市環境影響評価条例の対象事業の義務付けはない**
- ・ しかしながら、最終候補地「青山」周辺には、緑豊かな自然、串川の清流、集落が存しており、県道からの進入路は、既存通路を活かしつつも、拡幅や新設整備が想定されるため、**事業者の責務として、豊かな自然環境を将来に引き継いでいく必要があること**
- ・ これまで説明会等において、火葬場からの排水による汚染を懸念する意見があり、**周辺住民に対する十分な配慮が必要があること**

こうしたことから、**自主的な環境アセスメントを実施の検討を進める**

## 自主的な環境アセスメント

### 評価項目の考え方

- ・ 「青山」の周辺環境や他斎場の調査状況等を踏まえ、  
周辺地域団体等からご意見をいただいた上で見極める

### 想定される評価項目

大気環境（大気質、騒音・振動、風環境）

水環境（地表水、地下水・湧水）

安全（危険物、交通混雑、交通安全）

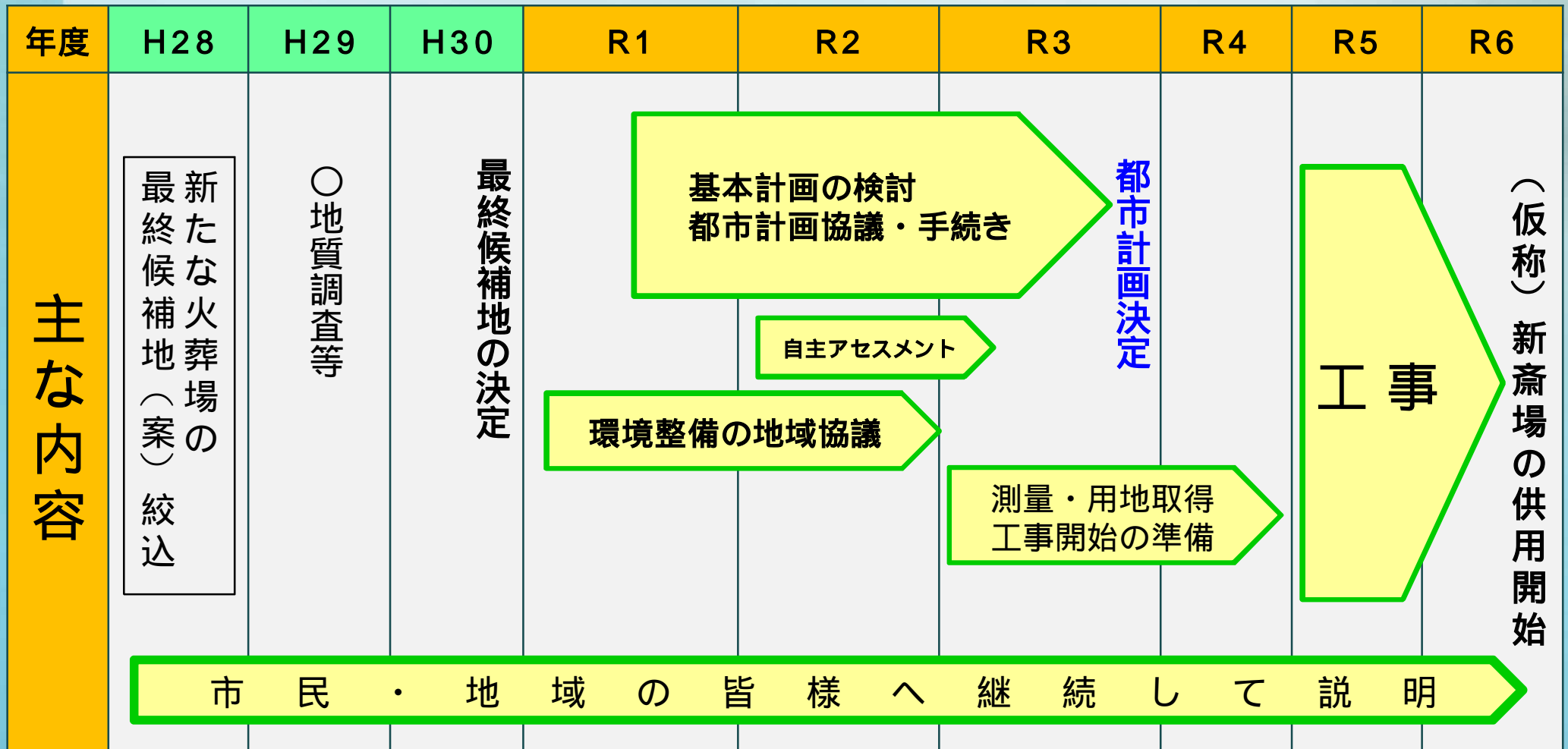
○植物

○動物

○生態系

必要性が高い。○実施の検討

# (仮称)新斎場の供用開始までのスケジュール



A misty, blue-toned landscape with mountains and water. The scene is hazy, with soft light filtering through the fog. The water in the foreground is calm, reflecting the surrounding environment. The mountains in the background are partially obscured by the mist, creating a sense of depth and tranquility. The overall color palette is dominated by various shades of blue and teal, with some lighter tones where the mist is thicker.

以 上